

ハンドブックについて進展がありました

療考会ニュース3月号記載の福岡市からの陳情書への回答について、障がいハンドブック作成については今年も進展がなく、残念な結果に終わりましたとご報告いたしました。再度福岡市こども未来局子育て支援部こども発達支援課に進捗状況の確認をいたしましたところ、**ハンドブック作成にも本年度の予算の一部が当てられている**との嬉しい報告をいただきました。内容やデザインのすり合わせ等、まだまだ完成まではお時間いただくことになると思いますが、障がい児をもった保護者の方の道標となるようなハンドブックとなりますよう療考会は進路の会と協力してこれからも活動を続けてまいります。

なお、飯塚市ですでに発行されている障がいハンドブックをモデルにしており、こういったハンドブックを福岡市でも作成していただきたいと長年にわたり、陳情活動をつづけております。以下ご参照いただけましたら幸いです。

[飯塚市障がい者ガイドブック](https://www.city.iizuka.lg.jp/shakaijiritsu/kenko/shogaisha/shisetsu/guidebook.html)

<https://www.city.iizuka.lg.jp/shakaijiritsu/kenko/shogaisha/shisetsu/guidebook.html>

お出かけ情報 **ご存じですか？**

ディズアビリティアクセスサービス (以下DASに省略)



DASとは、ディズニーリゾートやユニバーサルスタジオジャパン等のテーマパークで待ち時間に並ぶことができない障がいのある方が利用できるサービスです。DASを利用するとアトラクション列に並ぶことなく、待ち時間を待ち列以外の落ち着いた場所で過ごすことができます。

DASの対象者は、待ち列に並ぶことができない障がいのある方と、そのご家族やご友人を含む6名までのグループになります。



【サービスを受けるのに必要なもの】

- ・身体障害者手帳
- ・精神障害者保健福祉手帳
- ・療育手帳（愛の手帳、緑の手帳）
- ・被爆者手帳
- ・戦場傷病者手帳

入場時にいずれかを提示し、手続きをする必要があります。詳しくは対象のテーマパークホームページ等でご確認ください。

うちの子は体力的に、または気質的に、アトラクション待ちできないし、遊園地は難しいよなぁ～と敬遠してしまう気持ち、よくわかります。うちもそうです。ですが、待ち列に並ばずに、待機時間を障がいのあるお子さんと違う場所で過ごし、時間がきたら別通路からアトラクションに入場できるサービスがあることを知ったので、この夏休み挑戦してみようかなー？と思いました。今後DASを導入するテーマパークも増えるかもしれません。お出かけ前にこういったサービスがある施設か調べてから行くのもいいかもしれませんね♪

2022年度事務局退任挨拶

会長：角 麻衣
(ゆたか学園)

至らない点ばかりでしたが、これからへ繋がる活動を残せていたなら幸いです。支えてくれた事務局メンバー、応援してくれた家族に心から感謝です。ありがとうございました！

副会長：横山 かおる
(わかば園)

活動を通して様々な経験をさせていただき、学びの多い一年になりました。私個人としては至らない点が多かったですが周りの方のおかげで最後まで務めることができました。一年間ありがとうございました。

副会長：川上 みふゆ
(わかば園)

療考会で自分ができる精一杯のことはしてきたつもりです。未来につながる活動に少しでもたずさわれたことに深く感謝します。ありがとうございました。

会長：奥村 亮
(ゆたか学園)

今期の療考会は事務局メンバーそれぞれが活発に動いて頂いたおかげで、今後何を成すべきかの方向性も定まった一年になったかと思えます。来期も皆さんで力を合わせて頑張ってください。

広報係：加藤 千佳
(joyひこばえ)

メンバーに恵まれチャレンジの1年でした。南部療育センターや陳情も少し前進しました。オンライン茶話会が一番の思い出です。ありがとうございました。

広報係：染谷 沙織
(joyひこばえ)

たくさんの経験と勉強をさせていただきました。一年間ありがとうございました。新事務局の方々がのびのび活動できますよう心よりお祈り申し上げます。

保育係：扇 恵
(あゆみ学園)

療考会を通じて他園の方とお話できたり、沢山の事を学び貴重な体験をさせて頂きました！1年間ありがとうございました。

ニュース係：有馬 有希
(のびのび園)

会員のみなさん、代表者のみなさんのご協力に心より感謝いたします。事務局の仲間にも助けられ、楽しく活動出来ました。一年間、ありがとうございました。

ニュース係：前田 志穂
(のびのび園)

いつも協力的な事務局メンバーと共に学び、活動することができました。貴重な経験をありがとうございました。今後の活動も応援しております！

保育係：斎藤 愛理
(あゆみ学園)

療考会に関わり、オンライン茶話会に参加させて頂いて多くのことを学ぶことができました。1年間ありがとうございました。

会計係：有川 麻里
(めばえ学園)

ご迷惑をおかけした事もあったと思いますが、私自身療育を考えることが増えいい経験になったと思います。ありがとうございました。

会場係：中村 美佐登
(にこにこ園)

この一年で色々な学びと出会いがありました。面白そうだからという理由で事務局に飛び込みましたが、大正解だったと思います。一年間、本当にありがとうございました！

会場係：堀田 未歩
(にこにこ園)

茶話会や陳情などの活動を通して、様々な病気や障がいを抱えた子どもたちの状況を改めて勉強でき、改めて状況改善のための活動をしたと思いました。一年間ありがとうございました。

会計係：坂元 里奈
(めばえ学園)

一年間ありがとうございました。

会計係：井上 由莉奈
(めばえ学園)

1年間未熟ながら事務局メンバーにさせていただきありがとうございました。何かお力になれたら幸いです。

会員の皆様にも心より御礼申し上げます。
1年間本当にありがとうございました！



おわりに

今年度療考会役員をさせていただき、様々な取り組みに参加させていただきました。ありがとうございました。

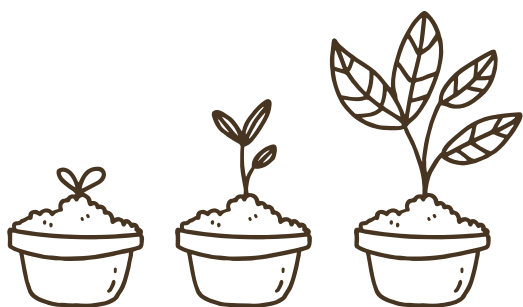
言い訳に聞こえてしまうかもしれませんが、療考会も各園の保護者会同様に運営している役員は全て園児の保護者に過ぎず、先輩役員である保護者から引き継ぎを受けたとはいえ、わからないことだらけで手さぐりで活動してきました。そのため、至らないところがたくさんあったかもしれません。

しかしながら、会長をはじめ、みんな役員を引き受けた以上は一生懸命取り組んで協力して、福岡市への陳情活動や会員様向けのイベントを開催してきました。少しでも会員様や福岡市の障がい児の療育環境の改善のお役に立てたなら嬉しいです。

なお、会員様からいただいております会費は福岡市の障がいのある子どもたちの療育環境を改善するための活動の貴重な財源となっており、とても大切でありがたいものです。

現在の福岡市の療育環境があるのは、療考会の先輩役員による長年の活動と会員様からの会費の積み重ねのおかげでもあると思っております。

療考会一同、会員の皆様に心より感謝申し上げます。
これからも福岡市地域療育を考える会を宜しく申し上げます。



6月28日は書面決議による総会があります。会員の皆様には委任状の提出にご協力いただけますよう合わせて宜しく願い申し上げます。

